

群 教 ゼ	G14 - 01
	平15.216集

## 英語に慣れ親しむためのマルチメディア 資料集「Minami E-Time」の作成

特別研修員 阿部 恵光（板倉町立南小学校）

### 《研究の概要》

本研究では、小学校の英語活動において、授業や調べ学習に活用できるマルチメディア資料集を作成した。児童が英語により親しめるような動画や静止画などのデジタルコンテンツを取り入れることにより、児童の英語に対する興味・関心が高められ、英語活動がより効果的に行えるようにした。本資料集の内容としては、本校の英語活動年間計画に沿って、各学年ごとに学習する英会話を配置し、児童一人でも簡単に扱えるようにした。

【キーワード：総合的な学習 - 小 英会話 国際理解 マルチメディア】

### 主題設定の理由

本校は、平成11・12年度の2年間、県から「英会話を楽しむ実践推進校」の指定を受け、また、平成13年度には、板倉町から「英会話を楽しむ実践推進校」の指定を受けて、英語活動の達成目標や実践事例集作成など成果を上げてきた。さらに平成14・15年度と引き続き実践を続けている。平成13年度からは、英会話をとおしてより多くの人と接するために、担任や外国語指導助手（以下 ALT とする。）だけでなく、英会話協力員として保護者の協力も得ている。また、総合的な学習の時間の中の国際理解の領域を「Eタイム」と名付け、週1回の英語活動を行っている。英語活動の内容は、ALT との活動の復習や市販ビデオ教材の視聴などである。児童は英語活動の時間を楽しく感じ、毎週「Eタイム」を待ち遠しく思っている。

このような活動を進めていくうちに、いくつかの課題が浮かび上がってきた。一つ目は、市販ビデオ教材の内容が、本校の英語活動の実情にそぐわなくなってきたことである。これは、本校が独自に活動年間計画を作成し、それに沿って英語活動をしているため、市販のビデオ教材にはない会話や単語を練習したりすることが多くなってきているためである。二つ目は、活動内容が固定化されてきているということである。校内研修や夏休み中の職員研修で英語活動で用いる新しいゲームの紹介を行っているが、新しいゲームはあまり広まらず、いつも同じ種類のゲームをする傾向がある。ゲームなどの活動は、英語に慣れるためにはとても重要な役割を持っている。三つ目は、英語という言葉を用いて自分の気持ちを伝えたり、人とコミュニケーションを図る下地を作るには、英語に接する時間や英語を使って人と話す機会を確保する必要があるということである。

そこで、これらの課題を解決し、本校の英語活動を支援するために、ALT 同士の会話や ALT の発音した単語などをビデオに収録し、コンピュータに取り込んでデジタルコンテンツを作成する。これを集めてマルチメディア資料集「Minami E-Time」を作成することにした。児童は、コンピュータを用いた簡単な操作で、デジタルコンテンツを繰り返し見ることが可能である。また、校内 LAN を活用することにより、複数の児童が、異なった場所で必要に応じてマルチメディア資料集を使用することが可能になる。さらに、本校の英語活動年間計画に沿った形で英語活動資料を配置すれば、調べたいこと、学習したことをすぐに探ことができ、学習を進める上でより効果的であると考えられる。また、ゲームや単語の練習などのコンテンツを配置することで、英語活動のバリエーションが増え、英語活動が児童にとってより楽しいものになる

と考える。

以上の理由から、本題材を設定した。

## 研究のねらい

小学校における英語活動において、もっと英語を話せるようになりたい、もっと英語に慣れ親しみたいという興味・関心を高め、幅広い国際感覚を持つ児童を育てるために、英語活動年間計画に沿った英語活動を支援するマルチメディア資料集「Minami E-Time」を作成する。

## 研究の見通し

本校の英語活動の年間計画に沿った会話を、身近にいる ALT 同士の会話や ALT に発音した単語などをビデオに収録し、デジタルコンテンツとして集め、Web 形式で構成すれば、児童が英語への興味・関心を高めたり、英語と日本語の表現の違いなどに気づいたりするようなマルチメディア資料集を作成することができるであろう。

## 研究の内容

### 1 教材の概要

#### (1) 基本的な考え方

本資料集は、小学校英語活動において、児童が簡単な英会話を繰り返し練習したり、英会話により親しみやすいよう、以下の点に配慮して作成する。

#### ア 本校の英語活動年間計画に沿ったデジタルコンテンツの配置

本校の英語活動は、低学年は「英語を聞く」「英語に慣れる」、中学年は「英語に慣れる」、高学年は「英語で話そう」をねらいとして各学年六～八つの会話を配置している。本資料集では、これらの会話について各学年ごとに指導内容をわかりやすく掲載する。また、各学年ごとに使われる単語をまとめた「ことばのページ」もコンテンツとして掲載する。

#### イ 児童が一人でも操作できるための工夫

今まで活動してきた内容やこれから活動する内容を、児童が一人で、調べたり、会話の練習をしたりしやすいように、わかりやすく配置をする。また、各操作ボタンを大きくし、漢字表記も各学年で学習する範囲を超えないようにする。

#### ウ より身近に感じさせるための工夫

ALT 同士の会話だけでなく、児童と ALT の会話も収録する。英会話に慣れるためには、まず相手のことを尋ねることが一番よいと考え、収録する会話は、相手に何か尋ねるというものである。例えば、家族の写真や絵などを見ながら、誰なのかを尋ねたり、英語では何と言うのかを尋ねたりする会話などである。

#### エ 発音がよくわかる工夫

ことばのページでは、ALT の発音の様子がわかるようにする。特に、「th」や「r」「f」等の普段の日本語では使わない舌や唇の動きがわかるようにする。また、各単語は発音するだけでなく文字でも表示し、発音と文字を同時に見せるようにする。

#### オ 表情や動作がよくわかる工夫

英語などの外国語では、会話をするとき、言葉と同時に、体を使った表現をすることがある。そこで、相手の目を見ながら話したり、表情豊かに話したりするときなどの表情や動作もよくわかるようにし、日本語との違いに気づくようにする。

## カ 国際理解教育からのアプローチの工夫

日常生活の中で、何気なく使われている外来語と英語の発音の違いや、日本語の表現のしかたと英語の表現のしかたの違いに気づけるようにする。

## キ 視覚効果の工夫

大きい、小さい、長い、短いなど形容詞の表現では、言葉だけでなく、視覚的にもわかるように動画を取り入れる。

## (2) 教材の構成

デジタル資料集「Minami E-Time」の構成は以下のとおりである。

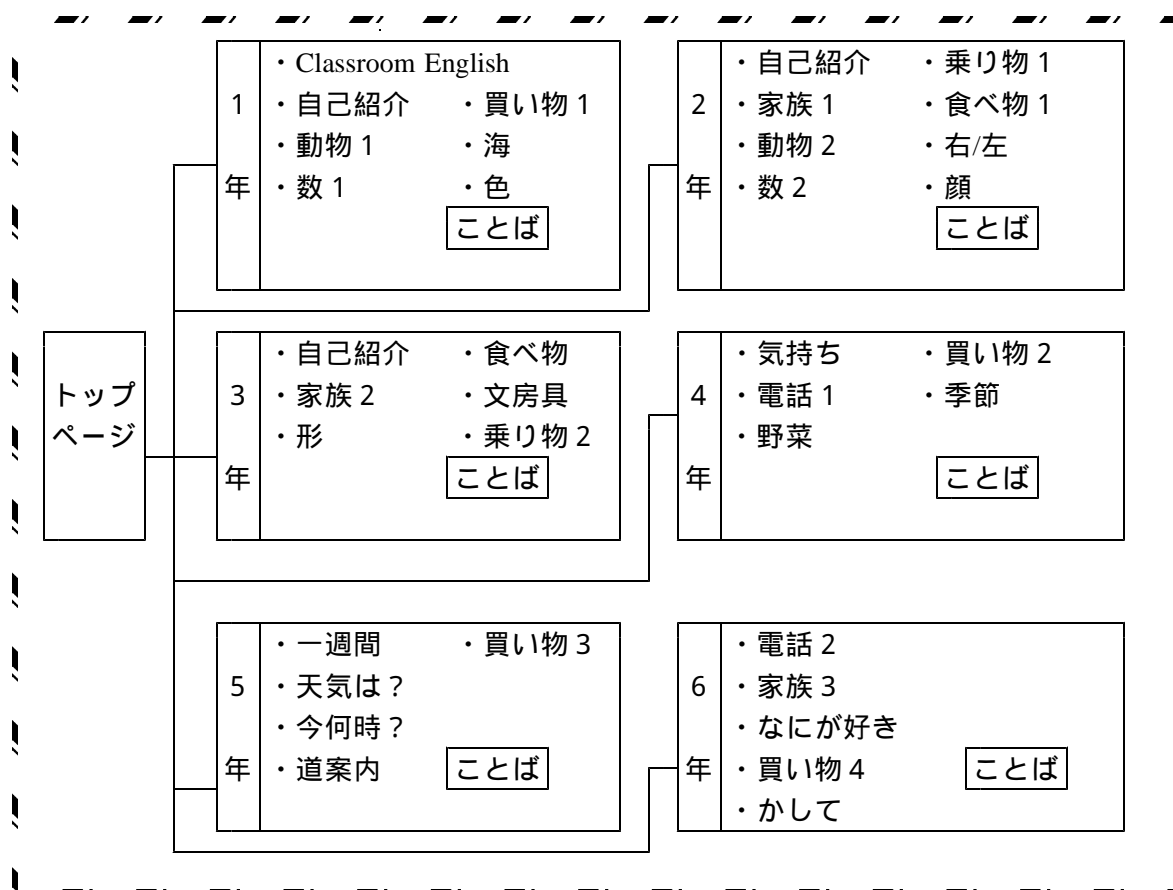


図1 「Minami E-Time」の構成図

## 2 教材の内容

### (1) トップページ

児童の興味・関心を高めるよう、タイトルとボタンのところにカーソルをあわせると、音声が出るようにする。また、各学年のページへ移るための各学年のボタンを配置し、低学年にも操作しやすいようにボタンを大きくする(図2)。

### (2) 各学年のページ

第1学年のページでは、初めて英語に触れることになるために、「ネームカード」や「あいさつ」「名前は？」など、英語活動で使われる基本的な会話を中心に配置する。操作ボタンは、児童だけ

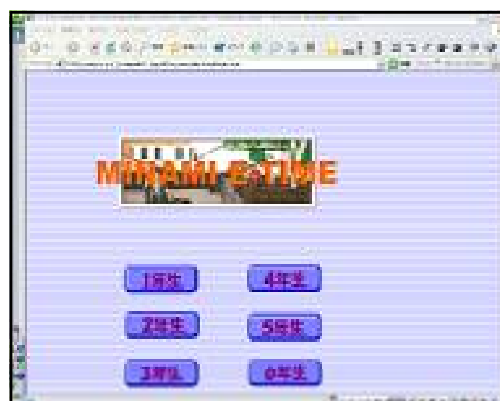


図2 トップページ

で操作できるようにし、会話の内容がわかるようなタイトルをつける（図3）。

第2学年のページでは、第1学年の内容を基本にして、「英語でなんていうの？」や「わたしも好き」など、英語で相手に話しかけたり、尋ねたりする内容を加えている。ALT 同士の会話だけでなく、写真や絵も加えて、視覚的にも理解できるようにする（図4）。

第3学年のページでは、低学年の会話をベースにしながら、より多くの単語を使って会話ができるような内容を配置した。例えば、「大きい」「小さい」や「数」などである。「数」の場面では、数字も画面の中に挿入して、音と映像で学習できるようにする（図5）。

第4学年のページでは、第3学年と同様に、「色や形」や「身体」などのものの様子を表す形容詞や名詞などを多く取り入れた内容にする。

第5学年のページでは、自分から英語を使って会話をしたり、自分が考えていることを相手に伝えたりすることを中心に配置した。会話の内容も、低学年よりも長くなるように工夫する。

第6学年のページでは、小学校の英語活動のまとめとして、また、総合的な学習の時間の中の国際理解教育のプロジェクト学習の手助けとなるように、家族の紹介や、電話でのやりとりなど、日常生活を基本とした会話を中心に配置する。例えば、「かして」のテーマでは、日本語で借りるという言葉は、いろいろな場面で使われているが、英語では、「借りる」という表現が場面ごとに違ってくる。例えば、鉛筆や本を借りる場合は、「Can I borrow your pencil?」であり、トイレなどを借りる場合は、「Can I use a toilet?」ティッシュを借りるときは、「Can I have a tissue?」となる。このような違いも気づけるようなページも配置しておく。

### (3) 会話のページ

主に ALT 同士の会話を収録している。例を挙げると、「You're it.」と「I'm in.」（おにごっこのおにになったときの言い方は、アメリカとイギリス系では異なる。）など同じ会話でも、英語は使う国によって答え方が違う場合がある。また、「Thank you.」と「Thanks」など、人によっても答え方が違う。そのような体験も必要と考え、言い方のバリエーションも収録してある。また、1

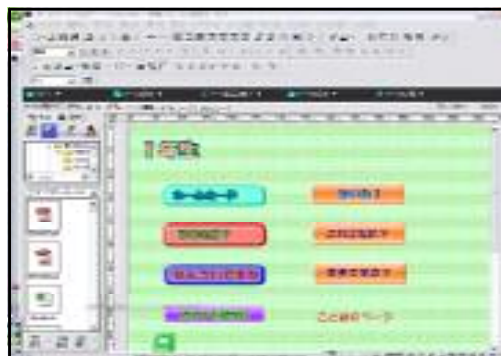


図3 1年生のページ



図4 英語で何ていうの？



図5 数



図6 face

年生の会話「face(顔)」の場面では、ALTの意向で、顔半分の絵を示しながら行っている。これは、耳や目が顔全体を示すと、複数形となってしまう、1年生では範囲を超えているとの判断からである(図6)。

また、会話の内容は、日常生活を基本とし、自分の気持ちを相手に伝えたり、相手のことを尋ねたりするものを収録する。特に高学年の会話では、総合的な学習の時間で使用できるように、英語を使って相手とコミュニケーションを図るための資料的な要素も含まれている。

#### (4) ことばのページ

各学年で使われる単語を、関連のある言葉どうしをまとめて、見出しをつけて児童が調べやすくしてある。また、低学年でも検索しやすいように、絵と文字で表示する(図7)。

実際の画面では、ALTの唇の動きがよくわかるような映像を収録する。児童が繰り返し練習できるように、各単語の発音の後には、少しのブランクを入れる。さらに、文字を画面に同時に出すようにし、スペルにも興味・関心をもたせるようにする(図8)。

また、活動時間の中では使わない単語も発展的内容として収録する。

### 3 実践の結果と考察

#### (1) 実践の方法

実践は、ALTとの授業、担任のみの授業、児童の調べ学習などの様々な場面を想定して、全学年において、図書室や教室を使用して行った。また、展示室にコンピュータを置いて、休み時間等に自由に操作できるようにした。

##### ア 低学年での実践

低学年では、ALTの英語活動の時間内で活用した。児童の反応はもっと見たい、もっと使いたいと、興味・関心が高かった。活動後は図書室や展示室で、自分たちで操作しながら利用している姿が見られた。児童の動画画面への興味・関心は高く、実際に操作しながら、大きな声で発音している姿も数多く見られた。

##### イ 中学年での実践

中学年では、担任による英語活動の時間内で、本デジタル資料集を活用した(図9)。教室にノートパソコンを持ち込み、プロジェクターで投影



図7 ことばのページ



図8 単語の場面



図9 中学年の実践の様子



図10 休み時間の様子

しながら前回の ALT との授業の復習の場面、単語の練習の場面で活用した。単語の練習では、クリック操作で一時停止ができるので、児童に発音させた後、ALT の発音を聞かせたりすることで、意欲を出させる活用もできた。

#### ウ 高学年での実践

高学年では、担任による英語活動の時間内での補助教材として、また、「英語で伝えようプロジェクト」学習の参考資料として、本デジタル資料集を活用した。「英語で伝えようプロジェクト」は、自分たちの町や学校のこと、自分たち自身のことを英語で紹介しようとするものである。自分たちが考えたことを、どう英語で表現するかを本デジタル資料集を使って調べた。児童は、興味を学年が低学年と一緒にあって、本デジタル資料集を操作する場面も見られた(図10)。

#### (2) 実践の考察

授業の後、本資料集について児童にアンケートを実施した。また、本資料集について思ったことを書かせた。

本デジタル資料集を使った英語の授業が楽しかったかの質問に対して、「楽しい。」「まあ楽しい。」と答えた児童は、98.5%であった。また、この教材を使って英語の授業をやりたいかの質問にたいして、「やりたい。」と答えた児童は85.4%であった(図11)。このことから、児童の本デジタル資料集に対する関心は高いといえる。児童の感想の中にも、「自分の好きなところを止めて、繰り返し見ることができてわかりやすかった。」「身近な ALT が、画面の中で話すことで、一緒にやっているみたいでよかったです。」などの意見があった。また、「もっと会話が長い方がよかったです。」「もっともっと増やしていったらおもしろいです。」など改善を促すような意見もあった(図12)。これらは、児童の英語活動への興味・関心を高めほぼ一致する。

#### 研究のまとめと今後の課題

本研究では、文字や動画等のメディアを用い、児童が英語に対する興味・関心を高めるデジタル資料集「Minami E-Time」の作成に取り組んだ。本資料集を活用した授業後のアンケート結果等から、以下のことが明らかになった。

Web 形式にしたことにより、簡単な操作で、繰り返し確認しながら学習することができ

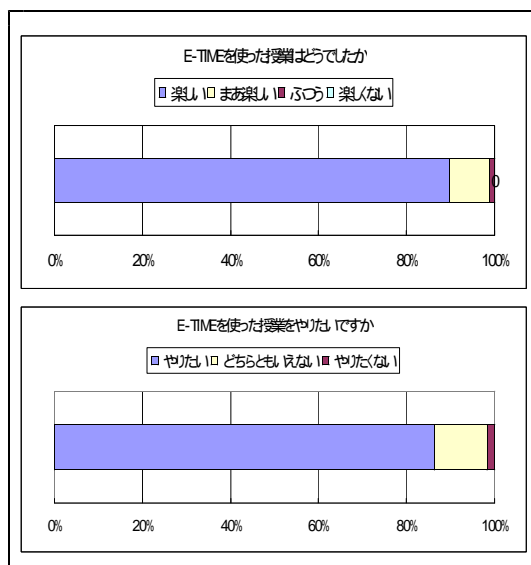


図11 アンケートの結果

#### 児童の感想

- ・とても楽しかったです。
- ・休み時間にやりたいと思いました。
- ・これなら楽しく英語が勉強できると思いました。
- ・いつでも見られるし、便利だと思いました。
- ・発音のしかたとか、一回止めたりできるのでわかりやすかったです。
- ・1～6年生までわかれているから、小さい子でも勉強できるからいい。
- ・遊ぶ感覚でできて楽しかった。
- ・とても使いやすかったです。
- ・(ALT と)まるで一緒に勉強しているみたいでよかったです。
- ・口の動かし方がわかってよかったです。
- ・もっと会話が長い方がよかったです。
- ・もっともっと増やしていったらおもしろいです。
- ・もっと文字とか、絵とかを入れると楽しいのができるかな。

図12 児童の感想

た。また ALT の質問のところで動画再生を停止をして、この後の答え方を尋ねるといった使い方もできることから、英語活動の幅を広げることができた。

身近にいる ALT 同士の会話などを取り入れたことにより、児童の英語への興味・関心を高めることができた。

日本語と英語の表現の違いなどを意識させるデジタルコンテンツを取り入れることにより、児童の英語への興味・関心を高めることができた。

以上のことから、本デジタル資料集「Minami E-Time」は、本校の英語活動において、児童の英語への興味・関心を高める資料集になったと考える。

今後の課題として、児童のアンケートで要望として挙げられた「会話をもっと長いものにする」「もっと、コンテンツを増やす」等を解決していきたい。また、今後も児童、ALT や教員などの意見を参考にして、さらに本デジタル資料集を充実させていきたい。

< 参考・引用文献 >

- ・『小学校英語活動実践の手引き』 文部科学省（2001）
- ・ 松川 禮子 編著 『小学校英語活動を創る』 高陵社書店（2003）
- ・ 長江 宏 太田 美智彦 共著 『小学校教師の英語活動 Q&A 』 学校図書（2001）

資料 1 板倉南小 英語活動年間計画

	K.1	K.2	K.3	K.4	K.5	K.6	K.7	K.8	K.9	K.10
1st Grade	<p>Greetings English How are you? Thank you.</p>	<p>Self Name What's your name? My name is...</p>	<p>Animals one What's that? It's a...</p>	<p>Numbers 1 How old are you?</p>	<p>Conversations What's your name? My name is... How old are you? I'm...</p>	<p>Hobbies I like to read. Do you like to read? Yes/No.</p>	<p>Colors Do you like...? Yes/No.</p>	<p>Christmas Merry Christmas!</p>	<p>Shopping How much is this? Thank you.</p>	<p>The Sea What's that? (It's a...)</p>
2nd Grade	<p>Self Name What's your name? My name is...</p>	<p>The Family 1 Who is that? My father/mother/... What's his/her name?</p>	<p>Animals two What's... in English?</p>	<p>Numbers 2 What time is it?</p>	<p>Food 1 I like... Do you like...? Yes/No.</p>	<p>Shopping 1 May I help you? A... please. How much?</p>	<p>Left &amp; Right Left &amp; Right</p>	<p>The Season What's that?</p>	<p>The River What's that?</p>	<p>Transportation 1 What's that?</p>
3rd Grade	<p>Feelings Are you happy? Yes/No.</p>	<p>Telephone Hello! This is... Who is that? My father/mother/... What's his/her name?</p>	<p>Shapes What's that?</p>	<p>Vegetables Do you like...?</p>	<p>Hobbies 2 I like to... Do you like to...? Yes/No.</p>	<p>Shopping 2 May I help you? A... please. How much?</p>	<p>The Body Where are your...? Do you like to...? Yes/No.</p>	<p>Christmas Cards Merry Christmas!</p>	<p>Seasons Do you like...? Yes/No.</p>	<p>Countries 2 Where are you from?</p>
4th Grade	<p>Days of the week What day is it today?</p>	<p>Days and Weather What's the weather?</p>	<p>Numbers (10-100) How many...?</p>	<p>Buildings 1 Where's the...?</p>	<p>Hobbies 3 I like to... Do you like to...? Yes/No.</p>	<p>Thanksgiving Happy Thanksgiving!</p>	<p>Buildings 2 Go straight/ Turn left/right.</p>	<p>Christmas 2 Christmas Cookies</p>	<p>Biked Walk Where are you from?</p>	<p>Shopping 3 May I help you? How much? Thank you.</p>
5th Grade	<p>Self Introduction How old are you?</p>	<p>The Family 2 Is that your...? Yes/No.</p>	<p>Crust What's that?</p>	<p>Food 2 What's your favorite food?</p>	<p>The Plaza This is... Is this...? Yes/No.</p>	<p>Countries Where are you from?</p>	<p>Vases Crackers Happy New Year!</p>	<p>True and Boys How much is this?</p>	<p>Shopping 4 May I help you? How much? Thank you.</p>	



- 1 対象学年 高学年
- 2 活動名 「パートナーを探せ」
- 3 主な英会話 Let's play ~on ~.  
Yes, let's. I'm sorry I'm busy.
- 4 言語教材 Let's play tennis on Sunday. Yes, let's. I'm sorry. I'm busy.
- 1 単語 Sunday, Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday,  
tennis, vallyball,rugby,soccer,baseball
- 6 準備 絵カード、ゲームカード
- 7 展開

活動の過程	HRT と ALT の活動	児童の活動	
1 あいさつをする。	Good morning everyone. How weather is it today? Here you are. You're welcome.	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ PC を見ながら「曜日」の言い方を練習する。</li> <li>・ ALT と一緒に発音をしてるか。</li> <li>・ ゲームを楽しみながらしているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 相手の目を見ながら会話しているか。</li> </ul>
2 前回の言い方を復習する。 E-TIME をみせる。	スキットをする。 H:Hello.Let's play tennis on next Sunday. A: Yes,let's. (Sure.) H:OK. See you later. A:Let's play soccer on Thursday. H:I'm sorry. I'm busy.		
3 練習をする。			
4 ゲームをする。	Let's play a game. ゲームの説明をする。		
5 おわりのあいさつ	good bye		

ゲームの説明

「パートナーをさがせ！」

月	火	水	木	金	土	日

sports

ゲームカード

ゲームカードに3日ほどの予定（スポーツ）を入れる。

Startの合図で自由に歩き、出会った人とじゃんけんをする。

・じゃんけんに勝った人

Let' play(sport)on (曜日)をいう。

・じゃんけんに負けた人

勝った人に言われた曜日に予定が入って なければ、Yes, let's をいう。

予定がはいつていれば I'm sorry. I'm busy.をいう。

・じゃんけんに勝った人は、

Yes,let's と言われたら、そこへ をつける。I'm sorry といわれ

たらそのまま を繰り返す。(同じ人には質問できない)

早く予定をいっぱいにするゲーム。

